

Feel the arts
伝国の杜だより

米沢市上杉博物館
置賜文化ホール
Spring 2010
Vol.17

特別展
国立能楽堂開場25周年記念
国立能楽堂コレクション展



「小面」(前期展示)

エレガンス
能の雅
エスプリ
狂言の妙

平成22年4月17日(土)

5月23日(日)

*前期4月17日~5月9日
*後期5月11日~5月23日

休館日 5月10日(月)
(特別展展示替のため。常設展示室のみ観覧可)

「茶地青海波源氏車模様厚板」(前期展示)

同時開催◆特別展示

上杉家伝来能衣装と能面

開場25周年を迎えた国立能楽堂が収集した貴重な資料を一堂に披露する初の機会です。能・狂言面、装束、楽器、絵画、文献資料など約180点を展示し、ユネスコ『世界無形遺産』として認められた日本美の結晶を紹介いたします。

また、江戸時代、能楽を積極的に普及した米沢藩主上杉家に伝わった衣装と能面も特別展示します。「幽玄」という独特な美意識をもつ能の世界と軽妙な「笑い」を基調とした狂言の世界を堪能していただきたいと願うものです。

国宝 「上杉本洛中洛外図屏風」

原本展示



4月17日(土)~5月9日(日)
常設展示室上杉文華館
6月26日(土)~7月1日(木)
企画展示室

【お知らせ】

改修のため常設展示室・企画展示室臨時休館させていただきます。

平成22年3月28日(日)~4月16日(金)

※ミュージアムショップ、体験学習室、情報ライブラリーはご利用いただけます。

※3月29日(月)は通常の休館日のため全館休館いたします。

能の雅 狂言の妙

わが国の伝統芸能である能楽(能と狂言)は、室町時代初期の成立から600年以上もの歴史を誇る貴重な無形文化財です。2001年にはユネスコによって『世界無形遺産』として認められ、その芸術性は新たな注目を集めています。

本展覧会は、開場25周年を迎えた国立能楽堂が収集した貴重な資料の中から選りすぐりの能・狂言面や装束絵画資料、謡本など約180件を展示いたします。これまで小規模での公開こそ行われてきましたが、一堂に披露されるのはこれが初めての機会となります。「幽玄」という独自の美意識に裏打ちされた能の優雅な趣と、「笑ひ」を基調とした狂言の軽妙な味わい。ふたつが織りなす能楽の奥深い魅力をじっくりと味わっていただきたいと願うものです。

会期
4/17(土)～5/23(日) * 5/10展示替
観覧料
一般400円(320円) 高大生300円(240円) 小中生200円(260円)
※ () 20名以上の団体料金

国立能楽堂コレクション展

同時開催 ■ 特別展示

上杉家伝来衣装と能面



茶地枝垂桜飛鳥模様厚板唐織 (東京国立博物館所蔵)
Image:TMN Image Archive Source:http://TnmArchives.jp/

江戸時代、能楽は幕府と諸大名を結びつける役割を果たし、諸大名にとっては、欠かすことのできない教養でした。米沢藩でも歴代藩主が能楽をたしなみ、中でも四代藩主上杉綱憲は能楽に積極的でした。米沢城二の丸で行われた能楽を一般庶民に自由にみせたという記録もあります。「国立能楽堂コレクション展」の開催にあわせ、上杉家に伝来していた衣装と能面の特別展示を同時開催いたします。

直江兼統生誕450年

特別展 戦国大名とナンバー2

前期5/29(土)～6/20(日) 後期6/26(土)～7/19(月/祝)
休館日 6/21～6/25(展示替)

世の中は、戦国ブーム、歴女ブームなどと称され、「天地人博2009」は好評でした。その継続性と直江兼統の生誕450年を記念して、上杉景勝と直江兼統主従と、同時代の大家を紹介します。大家の発生や主君と家臣団の関係はその家ごとに異なりますが、それらを知ることにより戦国時代から江戸時代への歴史の流れをより理解することができます。諸大名関連資料を紹介することで、上杉家や景勝・兼統主従をさらに深く知る機会にしたいと思います。(6/26～7/1 洛中洛外図屏風原本展示)



上杉景勝像 (当館蔵)



直江兼統像 (当館蔵)

企画展

母の手

和布で紡ぐ日本のこころ

7/24(土)～9/12(日)
休館日：7月28日・8月25日

針仕事は昔から女性の手仕事として、暮らしの中に息づいてきました。「縫う」「刺す」「接ぐ」という行為には、ものを大切にしてお返し使う「繕う」という精神があります。この展覧会では暮らしの中の手仕事から無限のデザインを一針一針に込められた精神とともに「母の手仕事」の視点で紹介いたします。

また、近年活躍する刺し子やパッチワークキルト作家の伝統を生かしながら創意溢れる作品も展示します。

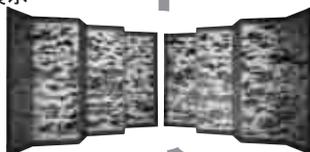


遠藤きよ子 「タペストリー 温故知新」

常設展示室 上杉文華館

上杉文華館では、特別な場合を除き国宝「上杉本洛中洛外図屏風」の原本または複製をご覧いただけます。今年は、昨年度大河ドラマ「天地人」の主人公、上杉家の執政直江兼統の生誕450年であることから、1ヵ月ごとに展示替えを行い12月まで、国宝上杉家文書をはじめ、直江兼統とその時代、周辺を紹介する展示を行っていきます。

- ◇川中島の戦い 4/17～5/25
●4/17～5/9
国宝 上杉本洛中洛外図屏風原本展示
- ◇春日山城の主 5/27～6/22
- ◇新規採用の武将たち 6/24～7/27
- ◇兼統の知識 7/29～8/24
- ◇天下人の力 8/26～9/21



平成22年3月28日(日)～4月16日(金)
常設展示室メンテナンスのため
お休みさせていただきます。

2010年
4月17日
再開!

この期間は常設展示室・企画展示室とも
ご覧いただけません。

常設展示室内の実物資料展示コーナー「上杉文華館」が「洛中洛外図の世界」の隣に移動します。実物の国宝上杉本洛中洛外図屏風(原本又は複製)と、CGのバーチャル画面を一体的にご覧いただくことで、より分かりやすく洛中洛外図の世界を体験できます。

今後の予定

直江兼統生誕450年
特別展 上杉家家臣団

前期 9月18日(土)～10月17日(日)
後期 10月23日(土)～11月23日(火/祝)

コレクション展
美術の見方案内所

12月4日(土)～2月6日(日)

コレクション展
国宝上杉家文書の世界IV

2月11日(金/祝)～3月13日(日)

教育普及事業

2010.4~2010.9

たいけん・はっけん・ものづくり

プレイショップ
マンスリーメニュー

- 4月 春のおりがみ
- 5月 Myめんこづくり
- 6月 マーブリングのひみつ
- 7月 織姫になろう
- 8月 モザイクであそぼう
- 9月 ハニカムであそぼう

体験学習室で
やってみよう

無料で
体験できます。

スペシャル企画 4/17-5/23
(4/23はお休み)

能衣裳のデザインをしよう
能のミュージックにふれよう

musedu(みゆぜでゅ) 1 こども学芸員、仏師とであう！！

2月14日、こども学芸員のメンバーは市内の仏師 佐藤極鳳氏の工房を訪ねました。仏像をつくる工程や道具などすべてが初めて出会うものばかり。"仏師"という存在をしっかりと脳裏に刻みつけ、実り多い体験でした。



募集制 ワークショップ

狂言ワークショップ

4/18(日) 13:00小学生親子/15:30中学生以上
大人の鑑賞の時間「能・狂言に大接近!」高校生以上
4/23(金) 19:00

囃子ワークショップ「能の楽器たち」

5/9(日) 13:00小学3~6年親子/15:00高校生以上
「針に思いを込めて一刺し子入門」
7/25(日) ~5回シリーズ

夏休み企画 海のモビールをつくろう!

8/11(水) 13:30

ピックアップ



制ワークショップは1ヶ月前から申込受付。他の募集制WS、自由参加制プログラムはページをご覧ください。

出前授業

博物館では学校へのさまざまな出前授業も行います。お気軽にご相談ください。

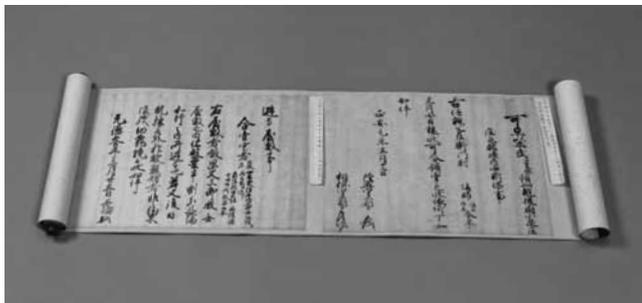
musedu(みゆぜでゅ) 2



問合せ: 教育普及担当
0238-26-8001

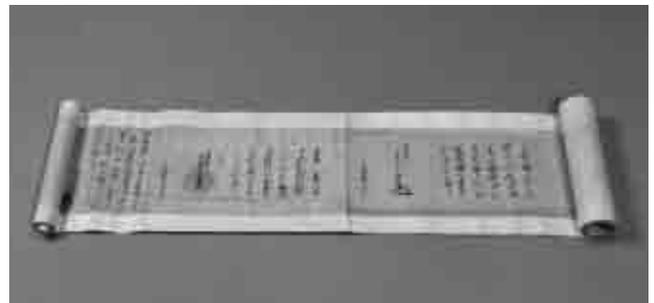
新しい収蔵品

学芸ノートから



いろべし こもんじょしゅう
色部氏古文書集

鎌倉時代後期(13世紀)~江戸時代
34.5×408.9cm



たかなしもんじょ
高梨文書

江戸時代初期(17世紀)
28.5×770.1cm

色部氏は、鎌倉時代初期に、新潟県の北部岩船郡神林村に入部し、慶長3年(1598)上杉景勝の会津移封まで領主として居住しました。本資料はその色部氏の庶家に伝来したものです。上杉家記録編纂所総裁や財団法人米沢図書館長をつとめた郷土史家伊佐早謙が編纂した『読史堂史料』(米沢市上杉博物館所蔵)に色部達彦氏所蔵文書として採録されています。これより、一部が『越後国人領主色部氏史料集』(神林村教育委員会発行・1979)において活字化されていましたが、本資料はその原本です。1巻に以下の7通の文書が貼り込まれています。

- | | |
|------------------------|-----------|
| (1) 正安元年 (1299) 5月12日 | 関東下知状 |
| (2) 元徳3年 (1331) 3月25日 | 色部長倫屋敷避状 |
| (3) 寛文11年 (1671) 4月25日 | 源某軍勢催促状写 |
| (4) 暦応4年 (1341) 正月10日 | 伊予守某軍勢催促状 |
| (5) 至徳4年 (1387) 4月25日 | 色部氏長所領請取状 |
| (6) 天正11年 (1583) 7月12日 | 上杉景勝書状 |
| (7) 天正15年 (1587) 6月13日 | 伊達政宗書状 |

米沢藩侍組の高梨家とは別系統の与板組に属した高梨家に伝来した文書群。源頼朝、源義仲、北条高時の発給文書が各1点、長尾為景の文書4点、長尾景虎の文書1点、上杉景勝の文書3点、直江氏(実綱、兼信、兼統)の文書4点、(長尾?)景永の文書1点の総計16点が1巻に貼り込まれています。中世、戦国期の感状が主で、高梨氏の由緒や武功を称えたものとなっています。しかし、研究の成果により、これらの文書は、家の由緒を示すために江戸時代初期に作り出されたものと考えられます。特に景虎、景勝、直江兼統のものは正文と思わせる精巧な文書で、『上杉家御年譜』に採録されているものもあります。従って、文書自体の価値は失われますが、当時の武家社会を知ることのできる歴史資料としての価値を有します。

ホール催事案内 ▼

・掲載の内容は追加・変更となる場合があります
 ・チケットの発売方法、発売開始時刻など詳細な情報は、各公演チラシをご覧ください。
 ・伝国の杜ファンクラブ会員は、一部の公演を除きおひとり様2枚まで1割引で購入できます。ご入会等詳しくはお問合せください。(年会費は一般2,500円です。)

「国立能楽堂コレクション展」開催記念

能狂言の各種体験イベント



■能・狂言の実演

「おもてなしの舞・謡」

①4月17日(土)13:00～

②5月15日(土)13:00～

「能狂言さくらに舞う会」

5月2日(日) 時間未定

■募集制ワークショップ

「狂言ワークショップ」

4月18日(日)

①13:00～15:00小学生親子20名程度

②15:30～17:30中学生以上20名程度

「囃子(はやし)ワークショップ」

5月9日(日)

①13:00～14:00小3～6親子30名程度

②15:00～17:00中学生以上30名程度

申込みを受付中。いずれも無料です。

定員になり次第締切。



会場: エントランス
能舞台ほか



Jazz Café Live1&2



1&2共通情報: 開場18:30 開演19:00

会場: ミュージアムカフェ「カルチュラル」

入場料: 全席自由 800円(1ドリンクつき)

※未就学児は
ご遠慮ください。

伝国の杜内のミュージアム・カフェ「カルチュラル」を会場にした「Jazz Café Live」。実力のある県内外のアマチュアミュージシャンや、山形に縁のあるプロが出演。1ドリンク付き800円という気安さもあって、毎回チケット完売の人気企画です。当日限定のドリンクメニュー(カクテルを予定)もおたのしみに!

1 6/26(土)末永尚史グループ

仙台を拠点に活躍する若きピアニスト末永尚史。東北大学モダンジャズ研究会時代からプロ活動を開始。乞うご期待!

チケット: 一般発売 4/22(木) FC会員先行予約 4/14(水)

2 日時未定 渋江光晴グループ

山形を拠点に東京・仙台でも活躍する渋江光晴と共に、関西から期待のヴォーカリストが登場します!

屏風ライブシリーズ「4つの扉」

2010年3月14日に伝国の杜で初演された『国宝「上杉本 洛中洛外図屏風」を聴く』。CDも発売されたこの5つの組曲は、鈴木広志グループの4人と作曲家・大場陽子の計5名の音楽家が狩野永徳の描いた屏風からインスピレーションを受けて、この公演のために作曲しました。5月からは鈴木広志グループの4人それぞれが自身のユニット率いて登場、3月に初演した曲を新たに編曲して再演します。4人の音楽家によって開かれる「4つの扉」をどうぞシリーズでお楽しみください。(それぞれのライブの紹介は、ユニットリーダー本人の言葉によるものです。)※第4弾は10/29(金)に開催します。

■ライブシリーズ「4つの扉」共通情報■

入場料: 全席自由 一般2,000円 学生1,000円(当日各500円増)

4回シリーズ券(限定50枚) 7,200円 FC会員6,000円

(学生はありません)

※未就学児の入場はご遠慮ください

プレイガイド 伝国の杜、大沼米沢店、米沢サティ、

米沢楽器店、音楽Azm館

第1弾

「JAZZ LIVE on 洛中洛外図屏風」

OHKUCHI JAZZ TRIO

5/19
(水)

開場18:30 開演19:00

出演: 大口俊輔(アコーディオン), 大口純一郎(ピアノ)

小林武文(パーカッション)

チケット: 一般発売 3/25(木) FC会員先行予約日 3/17(水)

託児受付: 5/12(水)締切

パリコレ・ファッションショーの音楽から、演出家・蜷川幸雄の舞台出演等々、数々の現場で音楽ファンタジーを創り出してきた若手音楽家、大口俊輔 (Pf / Accordion) が、独自のピアノリズムで小野リサ、加藤登紀子等、各界のアーティストから絶大な信頼を得ているジャズピアニストの父、大口純一郎 (Pf) と共演。パーカッションは名手小林武文。どうぞお楽しみに! (大口俊輔)



第2弾

「金碧天地響

～連続する金地金雲の響き」

東保光六重奏団

6/11
(金)

開場18:30 開演19:00

出演: 東保光(コントラバス), 塩高和之(琵琶), 高市雅風(箏),

小林幹(尺八), 太田朱美(フルート), 小林武文(パーカッション)

チケット: 一般発売 4/15(木) FC会員先行予約日4/7(水)

託児受付: 6/4(金)締切

「洛中洛外図屏風」の世界を、日本の楽器の音色で表現します。邦楽器と西洋楽器のアンサンブルのかたちの“現在”を探求した、新しい日本の音楽を演奏します。(東保光)



第3弾

「金の屏風、金の筒」

Biombo Special Saxophone Quartet

9/3
(金)

開場18:30 開演19:00

出演: 鈴木広志、東涼太、江川良子、富岡祐子(サクソフォーン)

チケット: 一般発売 6/10(木) FC会員先行予約日 6/2(水)

託児受付: 8/27(金)締切

東京芸大卒の4人。ソプラノ～バリトンまで金銀銅のサクソフォーンを使って、ソロも四重奏も欲張りにお届けします。バッハから日本歌曲、僕のオリジナル曲まで、サクソフォーンを通して音楽を楽しむ、というのがポイントです。(鈴木広志)



舞台裏体験ワークショップ 8/1 (日)

- ①舞台裏の探検ツアー
「タチイリキンシのそのおくへ」
10:00~ 小学生親子30名程度
- ②舞台技術の操作体験
「ステージを彩る音・明かり」
14:00~ 中学生以上20名程度



客席からは見ることのできない舞台裏の風景を体験してみませんか？

参加費：一人500円
 申込方法：6月3日(木)から電話で申込受付

サーカス・アコースティックコンサート“Heart to Heart” 8/4 (水)

開場18:30 開演19:00
 全席指定 5,000円(当日5,500円)
 一般発売 5/6(木)
 FC会員先行予約 4/28(水)
 プレイガイド 大沼米沢店、米沢サティ、米沢楽器店、音楽Azum館、伝国の杜
 ※未就学児はご遠慮ください。



1978年「Mr.サマータイム」でデビュー。群を抜いた個々の歌唱力と、洗練された完成度の高いハーモニーは勿論、ハートウォームなトークも魅力。2001年10月以来の再登場です。おたのしみに！

三遊亭円楽襲名記念 円楽たい平二人会 8/18 (水)

開場18:00 開演18:30
 全席指定 3,500円(当日4,000円)
 一般発売 5/20(木)
 FC会員先行予約 5/12(水)
 プレイガイド 大沼米沢店、米沢サティ、伝国の杜
 ※未就学児はご遠慮ください。

楽太郎改め六代目を襲名された三遊亭円楽師匠と、明るく元気な林家伝統のサービスピリットで大人気のたい平師匠。ご家族やご友人とぜひお出かけ下さい。託児サービスもあります。



平成22年度 山形県能楽の祭典 9/12 (日)

開場9:15 開演9:30 閉会17:00
 全席自由・入場無料

山形県内各地で謡や仕舞といった能楽を愛好するアマチュアが、流派を越えて一堂に会し、日頃の稽古の成果を披露します。謡、仕舞、舞囃子のほか「伝国の杜こども狂言クラブ」による小舞・狂言など、「能楽」の世界を気軽にのぞきにお出かけください。



世界にただひとつ! 空気浮上式移動能舞台の公開説明会 9/22 (水)



見学時間：14:00~15:30 (予定)

能舞台をホールへ移動させる作業の様子。普段は見ることのできない“動く能舞台”の裏側をお見せします！（申込は不要です）
 (9/23~26 エントランスホールにおいて郷土の作家 桜井祐一のプロンズ作品を展示予定)

おきたまの秋空に響け! 吹奏楽の日コンサート 10/3 (日)

開演時刻等は未定 入場無料(整理券なし)

屋内外で吹奏楽サウンドが鳴り響き、演奏者とお客様が一緒に楽しむことのできるコンサートです。この日のために結成する合同バンドも含め置賜一円から集



う演奏者は、学生から大人まで編成や年齢も実にさまざま。ポップスのアレンジほか吹奏楽の魅力を存分に楽しみいただけます。プログラムは9月中旬の発表予定です。

チケットはどこで買えるの?

①直接伝国の杜へどうぞ!

チケットの販売は「事務室」で行っています。正面玄関を入り、能舞台の右手奥が「事務室」の入口です。何の公演のチケット希望かをスタッフにお申し出ください。

②電話でも予約ができます!【舞台担当直通0238-26-2666】

直接これがない方は、まずお電話で席をご予約ください。その後、1週間以内にお引き換えいただくか、郵便振替でご入金いただければチケットを郵送いたします。

③市内プレイガイドでも販売します!

公演によっては市内プレイガイドにお預かりいただいているものもあります。事前にご確認の上、お出かけ下さい。

※チケット購入後はいかなる場合も払い戻しできませんのでご注意ください。

秋以降の予定

10/29(金) 屏風ライブシリーズ「4つの扉」第4弾(小林武文produce)
 「屏風から聴こえてくる音 琴鼓n'管」

12/2(木) 田部京子ピアノリサイタル

1/30(日) 親子でたのしむ音楽会

2月上旬 「音の絵本」コンサート

~コレクション展「美術の見方案内所」によせて~

こども狂言クラブ



狂言を通して着物や能の文化に親しみます。4月から稽古が始まりますが、一年を通して見学や新規入会を受け付けています。お気軽に問合せください。



対象：小中高生
 年間参加費：2,000円
 稽古日：月1~3回(土日祝ほか夏休みなど)
 発表：年4回程度
 講師：山下浩一郎氏(和泉流)

5月2日「さくらに舞う会」で能「鶴亀」アイ狂言にチャレンジ。初めて米沢金剛会さんと共演予定です。

9月12日「能楽の祭典」に向けても稽古を重ねていきます! 地域の皆様の応援よろしくお願いします。

2/20(日) 飯森&山響モーツァルトシンフォニーサイクル
 「アマデウスへの旅」第4年米沢演奏会(山響共催公演)
 時期未定 置賜地域芸能フェスティバル(仮)



米沢・愛と義の町
天地人博2009
平成21年1月24日(土)
～平成22年1月11日(月・祝)

入場者
515,775人

当初見込みの20万人を大きく上回るお客様をお迎えし、大盛況のうちに終了することができました。連休などは非常に混雑したことでご迷惑をおかけしてしまった点多々ありましたが、職員もまたとない貴重な体験をさせて頂くことができましたと思います。ご来場誠にありがとうございました。



かねたんホームページ
<http://www.yonezawa-naoe.com/kanetan/index.html>

大活躍だったかねたん・かげっちさま・おせんちゃんのお3人。これからも土日中心に伝国の杜に登場してくれる予定です。登場スケジュールはホームページ等でご確認くださいね。



米沢市直江兼続
マスコットキャラクター

米沢市上杉博物館

■最近の催事から

置賜文化ホール



■11月～12月
「天地人博リレー講演会」全4回

天地人博開催を記念し、直江兼続の実像やその生きた時代などについて、より深く理解していただくため4回の講演会を開催しました。おかげさまで毎回ほぼ満席でした。参加者はそれぞれの分野を代表する講師のお話に熱心に耳を傾けていました。



■1月30日(土)～3月7日(日)
コレクション展
「米沢藩のお抱え絵師一目賀多一家」

米沢藩のお抱え絵師である目賀多家の資料を紹介。作品のほか、制作過程のわかる粉本(ふんぼん)や日記も展示し、絵師の日常にも触れました。米沢の江戸時代の美術を再発見していただけたのではないのでしょうか。



■12月19日(土)
「万作の会狂言公演」

人間国宝・野村万作は、悪知恵ばかり働くため棒に縛られ留守を任される役。工夫を凝らして酒を盗み飲み叱られてしまう姿を人間味あふれる魅力で演じ、客席からは笑い声とともに温かな拍手が送られました。



■1月14日(木)
伝国の杜新春寄席
「春風亭昇太独演会」

落語家の春風亭昇太が初登場。当日は大雪の中、遠方からも多くのお客様をお迎えして会場は大盛り上がり。落語と江戸曲独楽のパフォーマンスもあわせて寄席芸の楽しみを満喫した会となりました。

でんもり
何でもQ&A

Q

展示室が暗く、資料が見えにくい時があります。また、上杉本洛中洛外図屏風の本体が決まった期間しか見られないのはなぜですか？

A

博物館資料の中には光に弱い性質のものが多くあります。特に紙資料は強い光を当てると劣化を早めます。保存のために照度を落としており、お客様にはご不便をおかけいたしますがご理解とご協力をお願いいたします。また、洛中洛外図屏風は国宝に指定されているため、保存の観点から国が示す展示期間の基準(年間60日)を守って毎年展示を行っています。

■ミュージアムショップから

新商品を御紹介します。

『国宝「上杉本 洛中洛外図屏風」を聴く／鈴木広志グループ×大場陽子(作曲家)』

CD
発売!!

平成22年3月14日に初演された5人の音楽家による音楽がCDになりました！今年1月、メンバーが米沢に滞在し、コンサートを行ったのと同じ伝国の杜のホールで録音されました。室町の絵師に平成の音楽家が挑んだ、前代未聞のコラボレーション、宮村泰朗氏デザインによる素敵なジャケットもぜひご覧ください！

演奏：鈴木広志group
[鈴木広志 (Sax, Fl, Cl) 大口俊輔 (Pf, Accordion) 東保光 (Contrabass) 小林武文 (Drum)]
作曲：鈴木広志、大口俊輔、東保光、小林武文、大場陽子
販売価格：2,000円(税込)
発売日：平成22年3月14日
発売元：BIOMBO RECORD／(財)米沢上杉文化振興財団 YOCB-0001



ミュージアムショップではグッズの通信販売も承ります。贈り物などにもご利用ください。(0238-26-8000)

■情報ライブラリーから

情報検索
パソコンを
のぞいてみよう!

情報ライブラリーの検索パソコン「おきたま玉手箱」では様々な情報を取り出すことができます。米沢の衣食住、先人、文化財、民話などを映像で分かりやすく紹介していますのでぜひご利用ください。



広げよう 文化ボランティアの輪

伝国の杜サポーターは、歴史、美術、音楽、伝統文化など本物に触れながら人や地域とつながることのできるボランティア活動として、スタートから5年目を迎えます。訪れる方への「おもてなし」の気持ちで伝国の杜の活動を支援してくださいる方を求めています。

観光インフォメーション

- ・開催中の展覧会や催事の案内
- ・飲食や土産物店の案内
- ・史跡巡りなど街あるきのルート案内 など



教育普及

- ・体験学習室での造形体験の支援
- ・ワークショップ参加者の支援
- ・学校への広報活動、出前授業の支援など



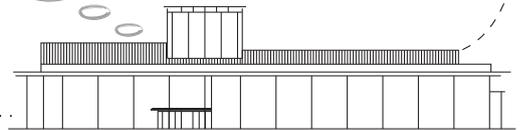
公演レセプション

- ・ホール内の案内
- ・開演中の客席ドア管理
- ・遅れたお客様への対応 など

3つの部門で
新メンバー募集中

お問い合わせ 26-8000
(サポーター担当)

歴史や美術が好きなら
人とふれあうことが好きな方
昔の遊びを今の子供達に
教えたい方
音楽や舞台公演が好きなら
米沢が好きなら
伝国の杜を含む松が岬公園の
一帯をもっと元気にしたい方
文化ボランティア活動を
やってみたい方
…一緒に活動しませんか？



もっと楽しむ!

伝国の杜 ファンクラブ会員募集

年会費

- 一般会員 2,500円
- 学生会員 1,000円
- ジュニア会員 500円

申込方法:

ファンクラブ入会申込書に年会費を添えて、伝国の杜事務室にてお申してください。

■お問い合わせ 0238-26-8000

※会員期間は4月1日～翌年の3月末日までです。

平成
22
年
度
特
典

- ・会員証の提示で米沢市上杉博物館の常設展示室・企画展示室に何度でも自由に入館できます。(同伴者1人は団体割引で入館)
- ・置賜文化ホール自主事業チケットの先行予約・割引販売(会員1人につき2枚まで・一部公演のぞく)
- ・「伝国の杜だより」、ファンクラブ会報他、催事案内の送付(年5回程度)
- ・ファンクラブ会員向けの講座・イベントへの参加(年2回程度)
- ・ミュージアムショップで展覧会図録・オリジナル商品5%割引
- ・ミュージアムカフェでの10%割引(同伴者3人まで)

第20回 市民茶会

日本の伝統文化のひとつである茶道を気軽に親しむことのできる機会として、米沢市茶道連合会の協力のもと毎年開催してきた市民茶会も今年で20回目を数えます。

日時■平成22年6月20日(日)10:30~15:00

※無料ですが、茶券が必要です。

5月20日(木)~ 下記の場所で配布します。

米沢市座の文化伝承館、米沢市役所総合案内、伝国の杜

- 静山庵 表千家
鹿又宗花先生
- 1号室 裏千家
萬世宗美先生
- 2号室 玉川遠州流
佐藤森随先生
- ※静山庵は拝見のみとなります



かっぱ どう

河童洞コレクション

— 郷土玩具の楽しみ方 —

平成21年に米沢市に寄贈された「河童洞」郷土玩具コレクションを展示します。郷土玩具の魅力に触れ、誰もが目にすることがありながら、あまり知られていない楽しい世界を紹介いたします。

会 期■平成22年6月19日(土)~6月27日(日)

休館日■6月22日(火)

開館時間■9:00~17:00(入場は16:30まで)

※入場無料



座の文化伝承館
自主事業
2010

座ってたのしむ小さなステージvol.4

日本の音~琵琶~

日時■平成22年9月18日(土)①14:00②18:00

場所■座の文化伝承館・蔵

演奏■薩摩琵琶奏者 川嶋信子

定員■各回30名 ※入場無料(要整理券)

8月2日(月)~座の文化伝承館・伝国の杜にて配布



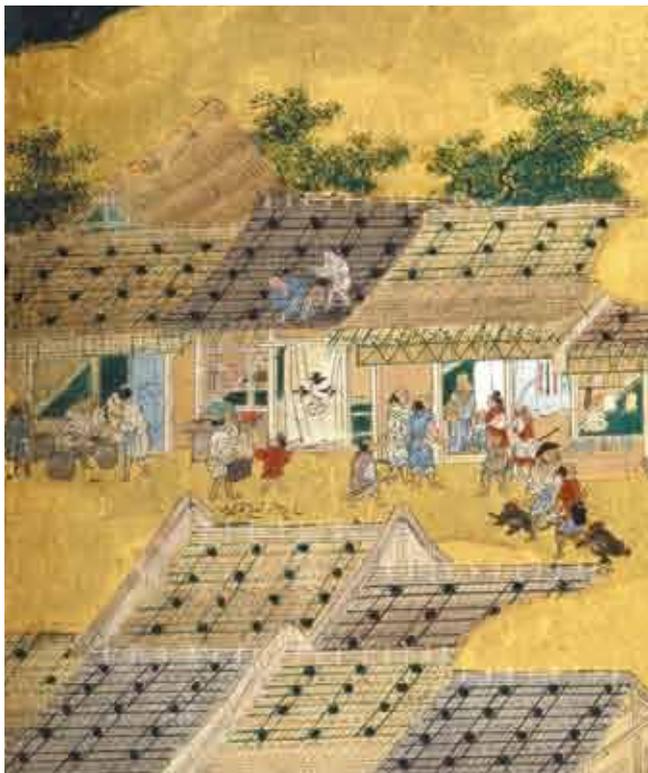
舞台やCMなどで役者として活躍したあと、日本の音に惹かれ、薩摩琵琶を鶴田流岩佐鶴丈に師事。猛々しいイメージのある薩摩琵琶を美しく弾き語り、数々の演奏会に出演。その魅力を広めています。奏者と客席の距離が近く木の温もりが漂う会場の雰囲気とともに楽しみください。

展覧会

教育普及事業

ホール

4	G: ギャラリートーク (企画展示室展示解説) C: コレクショントーク (常設展示室展示解説) 講: 講演会	企画展示室 上杉文華館 ◇テーマ	常設展示室 上杉文華館 ◇テーマ	○: 自由参加制ワークショップ(申込不要) ■: 募集制ワークショップ(要事前申込) □: 連続ワークショップ活動日	こども狂言クラブ 活動日 1年を通して活動しています。見学や体験を希望される方は事前に「連絡ください」。
	前期 4/17(土) ↓ 5/9(日) *5/10展示替 後期 5/11(火) ↓ 5/23(日)	特別展 国立能楽堂コレクション展 エリカス エスプリ 能の雅 狂言の妙 <同時開催> 上杉家伝来 能衣装と能面 5/5 常設展示室小中学生無料	◇川中島の戦い 4/17~5/25 C4/24(土)14:00~ <4/17~5/9> 国宝 上杉本洛中洛外図屏風 原本展示	■ 4/23(金)おとなの鑑賞の時間 「能・狂言に大接近！」 ■ 4/18(日)狂言ワークショップ ■ 5/9(日)囃子ワークショップ □4/25(日)チルドレンキュレーターズ活動日① ■ 6/5(土)いつでも晴れの傘をつくろう ○ 6/13(日)巻巻きっていいなあ・・・ □ 6/13(日)チルドレンキュレーターズ活動日② ○ 6/19(土)むかしむかしをきこう1	
6	前期 5/29(土) ↓ 6/20(日) *6/21-6/25 展示替 後期 6/26(土) ↓ 7/19(月/祝)	直江兼統生誕450年 特別展 戦国大名と ナンバー2 G5/29(土)10:00~ G6/12(土)14:00~ G6/26(土)10:00~ G7/10(土)14:00~ 講6/6(日)14:00~ 講7/4(日)14:00~ (6/26~7/1) 国宝 上杉本洛中洛外図屏風 原本展示	C6/5(土)14:00~ ◇新規採用の武将たち 6/24~7/27 ◇養鶴の知識 7/29~8/24 C7/3(土)14:00~ ◇兼続の知識 7/29~8/24	■ 7/18(日)型絵染 入門編 □ 7/18(日)チルドレンキュレーターズ活動日③ ○ 7/24(土)むかしむかしをきこう2 ■ 7/25(日)針に思いを込めて一刺し子入門① ■ 7/31(土)針に思いを込めて一刺し子入門② ■ 8/6(金)鑑賞の時間② 母の手 ~針に込められた思いを読み解く ○ 8/7(土)むかしむかしをきこう3 ■ 8/8(日)木でつくろう! Myはしづくり ■ 8/11(水)海のモビールをつくろう! ■ 8/21(土)針に思いを込めて一刺し子入門③ ■ 8/22(日)アウトリーチ 米沢民藝館探訪 □ 8/22(日)チルドレンキュレーターズ活動日④ ■ 9/4(土)針に思いを込めて一刺し子入門④ ■ 9/5(日)水彩画入門 ■ 9/10(金)和の時間 風呂敷っていいなあ・・・ □ 9/11(土)チルドレンキュレーターズ活動日⑤ ■ 9/12(日)針に思いを込めて一刺し子入門⑤	8/1(日) 舞台裏体験ワークショップ①② 8/4(水) サーカス・アコースティックコンサート 8/18(水) 三遊亭円楽襲名記念「円楽たい平二人会」 9/3(金) 屏風ライブシリーズ「4つの扉」③ Biombo Special Saxophone Quartet 9/12(日)山形県能楽の祭典 9/22(水)空気浮上式移動能舞台 公開説明会
7	(6/26~7/1) 国宝 上杉本洛中洛外図屏風 原本展示	企画展 母の手 和布で紡ぐ日本のこころ G7/24(土)14:00~	◇天下人の力 8/26~9/21 C8/28(土)14:00~ C9/25(土)14:00~		
8	7/24(土) ↓ 9/12(日)				
9					



国宝「上杉本洛中洛外図屏風」

4/17~5/9
常設展示室上杉文華館にて原本展示

室町時代 狩野永徳筆
右隻第四扇 端午の節供

5月5日は端午の節供。東洞院通りの町屋の屋根に登った親子が軒先に菖蒲を葺いています。頭上運搬の女性は粽(ちまき)売りでしょう。通りの右には長刀を持ち、兜をかぶる子供の姿も見えます。

伝国の杜 米沢市上杉博物館
置賜文化ホール

◆利用案内◆

〒992-0052 山形県米沢市丸の内1-2-1
0238-26-8000(代) 米沢上杉文化振興財団
0238-26-2660(FAX)
0238-26-8001(米沢市上杉博物館)
0238-26-2666(置賜文化ホール)

※休館日等は管理の都合により、変更する場合がありますので詳細はお問合せ下さい。

博物館開館時間: 9:00-17:00(入館は16:30まで)
博物館休館日: 4月-11月 第4水曜日(休日の場合その直後の平日)

臨時休館: 改修のため平成22年3/28(日)~4/16(金) 展示室休館

12月-3月 毎週月曜日(休日の場合その直後の平日)
年末(今年度は12/27-12/31)
※年始 1/1-1/3は休まず開館します。

博物館観覧料: 常設展 一般400(320) 大高生200(140) 小中生100(60)
()は20名以上の団体料金 ※特別展・企画展は別途
ホール休館日: 毎週月曜日/年末年始(休日の場合その直後の平日)



「伝国の杜」の「伝国」という言葉は、米沢藩九代藩主上杉鷹山が天明5年(1785)上杉治広に家督を譲る際に藩主の心得として与えた「伝国の辞」に由来するものです。